

様式1

大学等名	藍野大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシー)

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

全学科必修の「情報科学Ⅰ（必須：2単位）」「統計学Ⅰ（必須：1単位）」の3単位を修得すること。

必要最低科目数・単位数

2 科目

3 単位

履修必須の有無

令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報科学Ⅰ	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
統計学Ⅰ	1	○	○	○					
情報科学Ⅰ	2	○		○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
統計学Ⅰ	1	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報科学Ⅰ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
統計学Ⅰ	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・データ駆動型社会、計算機の処理性能の向上「情報科学Ⅰ」(第2回)・データを起点としたものの見方「情報科学Ⅰ」(第12回)
	1-6	・大規模言語モデル、拡散モデル「情報科学Ⅰ」(第3回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、「統計学Ⅰ」(第1回)・1次データ、2次データ「統計学Ⅰ」(第6回)・データ作成「統計学Ⅰ」(第6回)
	1-3	・データ・AI活用の広がり「情報科学Ⅰ」(第3回)・仮説検証、原因究明「統計学Ⅰ」(第8回・第9回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析、予測、グルーピング、パターン発見「統計学Ⅰ」(第14回)・データ可視化、複合グラフ、2軸グラフ、関係性の可視化「統計学Ⅰ」(第2回)
	1-5	・データ解析と推論「統計学Ⅰ」(第14、15回)・ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介「統計学Ⅰ」(第11回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・倫理的・法的・社会的課題「情報科学Ⅰ」(第3回)・個人情報保護「情報科学Ⅰ」(第3回)・データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
	3-2	・ユーザ認証と、パスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取「情報科学Ⅰ」(第3回)・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報科学Ⅰ」(第3回)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類「統計学Ⅰ」(第1回)・データの分布と代表値、データのばらつき(第2回)・相関と因果「統計学Ⅰ」(第4回)・母集団と標本抽出「統計学Ⅰ」(第5回)
	2-2	・データ表現「統計学Ⅰ」(第1、3回)・データ比較「統計学Ⅰ」(第2回)
	2-3	・データ取得「統計学Ⅰ」(第6回)・データ集計、データの並び替え「統計学Ⅰ」(第2回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

現代社会における、数理・データサイエンス・AIの果たす役割や、これからの社会でデータの利活用の領域と事例、ならびに倫理的観点からの留意点を理解し、医療・福祉や健康増進分野におけるデータの扱い方、分析力、解釈する力、説明する力を身につけることができる。

様式2

藍野大学

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6

年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 482 人

女性 745 人

(合計 1227 人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数 合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
医療保健学部 看護学科	500	115	464	126	123											126	27%
医療保健学部 理学療法学科	443	100	400	104	0											104	26%
医療保健学部 作業療法学科	146	40	160	24	0											24	15%
医療保健学部 臨床工学科	138	40	160	28	26											28	18%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合 計	1,227	295	1,184	282	149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	282	24%

様式3

大学等名 藍野大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 88 人 (非常勤) 61 人

② プログラムの授業を教えている教員数 4 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 平山 朋子

(役職名) 教務委員長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

教務委員会

(責任者名) 平山 朋子

(役職名) 教務委員長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

藍野大学 教務委員会規程

⑥ 体制の目的

教務委員会は、本学学生の学習および教務に関する諸課題を審議し、円滑に教育の質の向上を図ることを目的として活動している。その取り組みの一環として、全学的にデータサイエンス教育を推進するため、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシー)」の運営を行っている。学科を問わず、希望するすべての学生が受講できる環境の整備を図り、履修者数および履修率の向上を目指している。あわせて、学生への周知、単位修得を支えるサポート体制の整備、ならびに学習指導や質問対応の仕組みについて継続的に取り組む。

⑦ 具体的な構成員

医療保健学部看護学科 教授 中田 裕二
 医療保健学部看護学科 准教授 藤本 智美
 医療保健学部理学療法学科 教授 平山 朋子(委員長)
 医療保健学部理学療法学科 教授 栗原 秀剛
 医療保健学部作業療法学科 教授 宮本 年也
 医療保健学部作業療法学科 講師 宮本 陳敏
 医療保健学部臨床工学科 准教授 郡 慎平
 医療保健学部臨床工学科 准教授 山崎 康祥
 教職課程部会長 岩佐 美香
 国際交流部会長 青山 宏樹
 事務センター長 室屋 裕樹
 学生支援グループ長 長谷川美佳
 教学IR室員 杉山 芳生

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	24%	令和7年度予定	50%	令和8年度予定	75%
令和9年度予定	100%	令和10年度予定	100%	収容定員(名)	1,184
具体的な計画					
本プログラムは、2科目とも必須科目であるため、全ての学科の学生が履修する。今後も必須科目として位置づけるとともに、この価値を学生に伝え、学習への取り組みが主体的になるように促す。また、今後学生に発行を計画している学習歴のデジタル化に伴うオープンバッジの発行にも反映させ、就職活動にもつながる工夫を計画している。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

すでに全学科の学生全員の必須科目なので、受講は可能である。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

すでに全学科の学生全員の必須科目であり、履修ガイダンス、学生便覧、ホームページなどで履修に関する周知はされている。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学は各学科で学年ごとに担任制度を取り入れている。履修に関しては、履修ガイダンスを行うとともに、入学時のオリエンテーションにおいて教員やメンターとしての在校生から履修や学習方法のアドバイスをを行っている。学生は自身の学習の成果を前期・後期の成績で管理しつつ、希望する学生には、次年度の履修について、担任と相談できるサポート体制をとっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

各科目において、学生の質問や相談などを受け付ける教員のオフィスアワー制度を設けている。また、オフィスアワーはシラバスに教員が在室している曜日と時間、メールアドレスを掲載しつつ、専任教員・非常勤講師への質問や相談がいつでもできるよう、LMS上でも学生・教員間のやり取りができる体制を整えている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

教務委員会

(責任者名) 平山朋子

(役職名) 委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本プログラムは2科目とも必須科目であり、令和6年度履修学生は全学生の24%である。令和7年度以降も引き続き科目配当年次の学生が全員履修する状況を維持する予定である。
学修成果	本学で行っている授業に関するアンケートとともに、本教育プログラムの対象科目の途中で行う演習課題と最後に行う定期試験で授業の理解度を確認している。 授業に関するアンケートでは、「あなたにとってこの授業の難易度は適切ですか」、「予習復習(準備や課題を含む)の時間は授業1回あたり、平均してどのくらいの時間がかかっていますか」、「あなたはこの授業に前向きまたは意欲的に取り組んでいますか」など、全15項目の質問項目を設けている。これらも参考に、総合的に学修成果の評価を行っている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本学では個々の授業改善に役立てるために各授業の中間時点で授業に関するアンケートを実施している。「あなたはこの授業の到達目標(シラバス記載)をどの程度達成できそうですか。」という問いに対し、本教育プログラムの対象科目の令和6年度の結果は、4件法(全くそう思わない:1点～非常にそう思う:4点)で3.31となっており、学生は概ね内容を理解できていると思われる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムは全学科の全学生を対象とした必須科目であるため、学生アンケートを通じた後輩等他の学生への推奨などは行っていない。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムは、2科目とも全学科の全学生を対象とした必須科目であるため、令和7年度も引き続き全学生が履修する予定である。

学外からの視点	本プログラムの修了者は非輩出のため、進路・活躍状況、企業からの評価を把握することはできていない。現在、卒業生が就職した病院、企業などの上長に、本学の卒業生の活躍の状況などに関するアンケート調査を行っており、今後、本プログラムの修了者についても状況把握を行う計画である。 数理・データサイエンス・AIの基本的な活用能力を身に付け、医療や福祉の現場においてその力を発揮し、新たな価値の創出や地域・社会が抱える課題の解決に取り組む人材の育成は、保健医療分野においても今後ますます高く評価されることが期待される。そのため、本学では、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの内容や教育手法について、医療の高度化・多様化や社会のニーズを的確に捉えながら、常に改善・進化を図る計画である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」として実感できるようにするためには、実際の医療・保健・福祉の課題を題材とした経験学習を取り入れた教育内容の開発が極めて有効であると考えられる。特に、電子カルテや地域医療データ、生活習慣病予防に関する統計情報などを活用しながら、データに基づいた意思決定やチーム医療の中での活用方法を学ぶことにより、学生の主体的な学びと実践力の育成が期待できる。また、学生が身近に感じられる事例や地域課題を取り上げることで、医療系の専門職を目指す者として、データサイエンスの視点が医療の質向上や患者支援にいかに関与し得るかを体感できるような教育設計を重視していく必要があると考えている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	医療系大学においては、学生が数理・データサイエンス・AIの知識を「自分ごと」として捉え、医療・福祉の現場における課題解決に役立てられるよう、「わかりやすく、意味のある授業」の提供が不可欠である。教育内容の専門性や水準を維持・向上させるとともに、内容の可視化、医療現場に即した事例の導入、ならびにアクティブラーニングや演習型授業の充実を図る。 その実現に向けては、学生からのフィードバックを重視し、定期的なアンケート調査により、授業内容や教材の理解度、関心度、実用性に関する評価を可視化し、改善に反映する。また、教員に対しては、数理・データサイエンス・AIの教育内容と、医療との接続を意識したFD研修会を企画・実施し、授業設計や教授法に関する共通理解を深める。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	

講義コード	1101401600	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I A(N)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401600	講義名	情報科学 I A(N)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401601	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学ⅠB(N)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401601	講義名	情報科学 I B(N)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401602	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I A(P)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	理学療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は

講義コード	1101401602	講義名	情報科学 I A(P)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401603	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学ⅠB(P)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	理学療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は

講義コード	1101401603	講義名	情報科学 I B(P)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401604	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I (O)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	作業療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401604	講義名	情報科学 I (O)
-------	------------	-----	------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401605	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I (M)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	臨床工学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401605	講義名	情報科学 I (M)
-------	------------	-----	------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101391600	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学Ⅰ(N)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a130			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
 02_代表値とばらつき
 03_共分散と相関係数
 04_相関と因果
 05_確率論の基礎
 06_母集団と標本
 07_統計的推定
 08_演習
 09_統計的仮説検定
 10_独立性の検定
 11_対応のないt検定
 12_対応のあるt検定
 13_分散分析
 14_相関と回帰
 15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
 定期試験(70%)
 但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112

連絡先

k-takemoto{@jaino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)

オフィスアワー

授業内で指示する。

アクティブラーニング

0. 実施していない

教育リソース

0. 使用しない

講義コード	1101391601	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学 I (P)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a130			対象学生	理学療法学科(2年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
02_代表値とばらつき
03_共分散と相関係数
04_相関と因果
05_確率論の基礎
06_母集団と標本
07_統計的推定
08_演習
09_統計的仮説検定
10_独立性の検定
11_対応のないt検定
12_対応のあるt検定
13_分散分析
14_相関と回帰
15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
定期試験(70%)
但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

講義コード	1101391601	講義名	統計学 I (P)
-------	------------	-----	-----------

印刷日:2025/05/06

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112

連絡先

k-takemoto{@jaino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)

オフィスアワー

授業内で指示する。

アクティブラーニング

0. 実施していない

教育リソース

0. 使用しない

講義コード	1101391602	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学 I (OM)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a230,BA1a130			対象学生	作業療法学科(2年次),臨床工学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
 02_代表値とばらつき
 03_共分散と相関係数
 04_相関と因果
 05_確率論の基礎
 06_母集団と標本
 07_統計的推定
 08_演習
 09_統計的仮説検定
 10_独立性の検定
 11_対応のないt検定
 12_対応のあるt検定
 13_分散分析
 14_相関と回帰
 15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
 定期試験(70%)
 但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112

k-takemoto{@}aino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)

オフィスアワー

授業内で指示する。

その他

アクティブラーニング

0.実施していない

教育リソース

0.使用しない

藍野大学医療保健学部 理学療法学科 (2024年度以降に入学した学生用)

分野	ナンバリング	授業科目名	時間	単位数			配当年次								カリキュラムマップ										
				必修	選択必修	選択	1年		2年		3年		4年		学部ディプロマポリシー				学科ディプロマポリシー						
							前	後	前	後	前	後	前	後	a. 知識	b. 技能	c. 態度・姿勢	d. 協創	e. 医療専門職の知識	f. アカデミック知識	g. 医療専門職の技能	h. 汎用的な技能	i. 医療専門職の態度・姿勢	j. 汎用的な態度・姿勢	k. 協創
基礎理学療法学	PT3e132	理学療法学概論	30	1			1												◎				○		
	PT3g105	体表解剖学演習	30	1				1													◎				
	PT3g206	日常生活活動学演習	30	1						1										◎					
	PT3e233	運動療法学	30	2					2											◎		○			
	PT3e234	理学療法学総論	30	1						1										◎					
	PT3e335	理学療法管理学	30	2								2								◎			○		
	PT3e136	理学療法評価学	30	2			2													◎		○			
	PT3g207	理学療法評価学実習	45	1					1											○		◎			
	PT3e237	臨床推論	30	1					1											◎					
	PT3g308	臨床推論演習	30	1							1									○		◎			
	PT3e338	理学療法診断論	30	1								1								◎					
専門科目	PT3g209	物理療法学実習	45	1					1											○		◎			
	PT3g210	義肢学	30	2					2											○		◎			
	PT3g311	装具学	30	2						2										○		◎			
	PT3g212	運動療法学実習	45	1					1													◎			
	PT3e339	運動器理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3g313	運動器理学療法学実習	45	1							1											◎			
	PT3e340	脳血管理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3g314	脳血管理学療法学実習	45	1							1											◎			
	PT3e341	神経筋理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3g315	神経筋理学療法学実習	45	1							1											◎			
	PT3e342	呼吸器系理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3e343	循環・代謝系理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3e344	発達理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3e345	地域理学療法学	30	2						2										◎		○			
	PT3g316	地域理学療法学演習	30	1							1											◎			
	PT3e346	がん理学療法学	30	2						2												◎			
	PT3e347	緩和医療論	15		1						1											◎			
	PT3e248	住環境コーディネーター論	30	2						2												◎		○	
	PT3e349	スポーツ理学療法論	30	2							2											◎		○	
	PT3g117	障がい者スポーツ特論	45	1			1													○		◎			
	PT3e150	パーソナルトレーナー論	30	2			2													◎		○		○	
	PT3g218	パーソナルトレーナー実習	45	1					1													◎		○	
	PT3e351	健康増進論	15	1							1									◎		○			
	PT3g319	マニュアルセラピー論Ⅰ	30	1						1										○		◎			
	PT3g320	マニュアルセラピー論Ⅱ	30	1							1									○		◎			
	PT3e352	再生医療と理学療法	15	1						1										◎					
	PT3e353	支援工学と理学療法	15	1							1									◎					
	PT3e454	理学療法学総合演習	90	2								2								◎		○			
臨床実習	PT3i101	臨床見学実習	45	1			1														○		◎		
	PT3i202	臨床観察実習Ⅰ	45	1				1													○		◎		
	PT3i203	臨床観察実習Ⅱ	45	1					1												○		◎		
	PT3g321	臨床評価実習Ⅰ	45	1						1											◎		○		
	PT3g322	臨床評価実習Ⅱ	180	4							4									◎		◎	○	○	○
	PT3g323	臨床地域理学療法学実習	45	1							1										◎		○		
	PT3g424	臨床総合実習	720	16								16								◎		◎	○	○	○
理学療法研究	PT3j301	理学療法学研究法演習Ⅰ	30	1						1												○		◎	
	PT3j302	理学療法学研究法演習Ⅱ	30	1							1											○		◎	
	PT3j403	卒業研究	90	2								2								○		○		◎	

分野	ナンバリング	授業科目名	時間	単位数			配当年次								カリキュラムマップ										
				必修	選択必修	選択	1年		2年		3年		4年		学部ディプロマポリシー				学科ディプロマポリシー						
							前	後	前	後	前	後	前	後	a. 知識	b. 技能	c. 態度・姿勢	d. 協創	e. 医療専門職の知識	f. アカデミックな知識	g. 医療専門職の技能	h. 汎用的な技能	i. 医療専門職の態度・姿勢	j. 汎用的な態度・姿勢	k. 協創
基礎 作業療法学	OT3e128	作業療法学総論	30	1			1											◎					○		
	OT3e129	基礎作業学	30	1			1											◎							
	OT3g104	基礎作業学実習Ⅰ	60	2			2												◎						
	OT3g105	基礎作業学実習Ⅱ	60	2				2											◎						
	OT3i101	保健医療福祉実習	30	1			1											○			◎				
	OT3f304	作業療法管理学	30	2						2								○	◎						
	OT3e130	作業療法評価学総論	30	1				1										◎		○					
	OT3g206	発達過程評価学演習	60	2					2									○		◎					
	OT3g207	身体機能評価学演習	60	2						2								○		◎					
	OT3g208	精神心理評価学演習	60	2						2								○		◎					
作業療法評価学	OT3g209	作業療法評価学演習Ⅰ	30	1						1								○		◎					
	OT3g310	作業療法評価学演習Ⅱ	30	1							1							○		◎					
	OT3e231	作業療法治療学総論	30	1					1									◎		○					
	OT3g312	作業療法治療学演習	30	1								1						○		◎					
	OT3g213	発達過程治療学	30	1							1							○		◎					
	OT3g314	発達過程治療学演習	30	1								1						○		◎					
	OT3g215	精神心理治療学演習Ⅰ	60	2							2							○		◎					
	OT3g316	精神心理治療学演習Ⅱ	30	1								1						○		◎					
	OT3g217	身体障害治療学演習Ⅰ	60	2							2							○		◎					
	OT3g318	身体障害治療学演習Ⅱ	60	2								2						○		◎					
専門 科目 作業療法治療学	OT3g319	身体障害治療学演習Ⅲ	30	1							1							○		◎					
	OT3g320	身体障害治療学演習Ⅳ	60	2								2						○		◎					
	OT3g321	身体障害治療学演習Ⅴ	30	1								1						○		◎					
	OT3g322	日常生活・環境作業療法学演習	60	2								2						○	○	◎					
	OT3g223	高齢期作業療法学	30	1					1									○		◎					
	OT3i302	地域作業療法学Ⅰ	30	2								2						○		○		◎			
	OT3i303	地域作業療法学Ⅱ	30	2								2								○		◎			
	OT3j301	作業療法研究法	30	1								1											◎		
	OT3j402	卒業研究	90	2									2								○	○	◎		
	OT3k405	特別支援教育特論	30		1					1								○						◎	
	OT3f206	保育学入門	45		2					2									◎		○			○	
	OT3e232	脳・認知科学作業療法論	30		1								1					◎							
	OT3g224	作業療法と認知症	30		1					1								○		◎					
	OT3g325	作業療法と認知症演習	30		1						1							○		◎					
	OT3e333	義肢・装具学	30	1							1							◎		○					
	OT3f205	スポーツ作業療法論	30		1					1								○	◎						
	OT3e434	機能神経解剖学演習	30		1					1								◎		○					
	OT3k406	職業的作業療法論	15		1					1								○						◎	
OT3e435	作業療法学総合演習	30	1									1					◎		○						
臨床 実習	OT3h102	臨床見学実習Ⅰ	45	1				1												○	◎				
	OT3h103	臨床見学実習Ⅱ	45	1				1												○	◎				
	OT3g227	臨床評価実習Ⅰ	90	2						2										◎	○	○			
	OT3g328	臨床評価実習Ⅱ	270	6								6						◎		◎	○	○			
	OT3h304	臨床地域作業療法実習	45	1							1									○	◎				
	OT3g429	総合臨床実習Ⅰ	315	7								7						○		◎	○	◎			
	OT3g430	総合臨床実習Ⅱ	315	7								7						○		◎	○	◎			

藍野大学医療保健学部 臨床工学科（2024年度以降に入学した学生用）

配当年次				カリキュラムマップ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
分野	ナンバリング	授業科目名	時間	単位数			1年				2年				3年				4年				学部ディプロマポリシー				学科ディプロマポリシー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				必修	選択必修	選択	前		後		前		後		前		後		前		後		a. 知識	b. 技能	c. 態度・姿勢	d. 協創	e. 医療専門職の知識	f. アカデミックな知識	g. 医療専門職の技能	h. 汎用的な技能	i. 医療専門職の態度・姿勢	j. 汎用的な態度・姿勢	k. 協創																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
							前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
基礎科目	教養教育科目	BA1c101 哲学入門	15			1	1														○		◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

分野	ナショナル	授業科目名	時間	単位数			配当年次								カリキュラムマップ									
				必修	選択 必修	選択	1年		2年		3年		4年		学部ディプロマポリシー					学科ディプロマポリシー				
							前	後	前	後	前	後	前	後	a. 知識	b. 技能	c. 態度	d. 協働	e. 医療等イノベーションの創出	f. 医療等イノベーションの創出	g. 医療等イノベーションの創出	h. 医療等イノベーションの創出	i. 医療等イノベーションの創出	j. 医療等イノベーションの創出
専門科目	医学分野（臨床）	ME3e312 臨床医学外科総論	30	2								2								◎				
		ME3e213 臨床医学内科総論	30	2					2											◎				
		ME3e214 呼吸器病態学	15	1						1										◎				
		ME3e215 循環器病態学	15	1						1										◎				
		ME3e216 腎泌尿器病態学	15	1						1										◎				
		ME3e317 麻酔集中治療医学	15	1							1									◎				
	生体医工学分野（臨床）	ME3e318 バイオメカニクス	30	2								2								◎	○			
		ME3e219 生体物性工学	30	2						2										◎	○			
		ME3e220 医用材料工学	30	2					2											◎	○			
		ME3e121 臨床工学概論Ⅰ	30	1			1													◎		○		
		ME3e122 臨床工学概論Ⅱ	30	1				1												◎		○		
		ME3e323 人工心臓制御学Ⅰ	30	2							2									◎		○		○
		ME3e324 人工心臓制御学Ⅱ	30	2								2								◎		○		○
		ME3e325 人工呼吸制御学Ⅰ	30	2							2									◎		○		○
		ME3e326 人工呼吸制御学Ⅱ	30	2								2								◎		○		○
		ME3e327 血液浄化療法Ⅰ	30	2							2									◎		○		○
		ME3e328 血液浄化療法Ⅱ	30	2								2								◎		○		○
		ME3g304 生体機能代行装置学実習Ⅰ	30	1							1									○		◎		
		ME3g305 生体機能代行装置学実習Ⅱ	30	1								1								○		◎		
		ME3g306 手術実践実習	30	1								1										◎		○
	医用機器学分野（臨床）	ME3e229 生体計測装置Ⅰ	30	2						2										◎		○		○
		ME3e330 生体計測装置Ⅱ	30	2							2									◎		○		○
		ME3g307 生体計測機器学実習	30	1								1								○		◎		
		ME3e331 心血管カテーテル治療学	30	2								2								◎		○		○
		ME3e232 医用治療機器学Ⅰ	30	2						2										◎		○		○
		ME3e333 医用治療機器学Ⅱ	30	2								2								◎		○		○
		ME3g308 医用治療機器学実習	30	1								1								○		◎		
		ME3e234 医用機器安全管理学Ⅰ	30	2						2										◎		○		○
		ME3e335 医用機器安全管理学Ⅱ	30	2							2									◎		○		○
		ME3g309 医用機器安全管理学実習	30	1								1								○		◎		
		ME3e336 臨床工学関連法規	15	1								1								◎				
	生体工学の発展と応用	ME3e237 臨床工学演習Ⅰ	30			1			1											◎				
		ME3e338 臨床工学演習Ⅱ	30			1				1										◎				
		ME3f420 臨床工学特論	30	1									1							○	◎			
		ME3e439 臨床工学総合演習	30	1									1							◎		○		
		ME3f321 臨床工学特別演習	45	1							1									○	◎			
		ME3j401 卒業研究	90	2									2							○		○		◎
	統合分野	ME3i401 臨床実習講義	30	2								2								○				◎
		ME3i402 臨床実習Ⅰ	40	1								1										○		◎
		ME3i403 臨床実習Ⅱ	40	1								1										○		◎
		ME3i404 臨床実習Ⅲ	40	1								1										○		◎
		ME3i405 臨床実習Ⅳ	40	1								1										○		◎
		ME3i406 臨床実習Ⅴ	40	1								1										○		◎

藍野大学 教務委員会規程

〔 2004 年 4 月 1 日
制 定 〕

（設置）

第1条 藍野大学組織規程第11条第1項に基づき、教務に関する基本的事項を審議するため、教務委員会（以下「委員会」という。）を設置し、同条第2項の規定に基づき、委員会に必要な事項を定めるものとする。

2 委員会は、全学的な教育課程・学習成果に関して、責任を負う組織とする。

（構成）

第2条 委員会は、次に掲げる職員をもって構成するものとする。

- （1）各学科から選出された者 各2名
- （2）教職課程部会長
- （3）国際交流部会長
- （4）学生支援グループ長 1名
- （5）前各号に掲げる者のほか、委員長が必要と認めた者

2 委員会に委員長を置き、学部長が指名する者をもって充てる。

3 委員会は、必要に応じ、委員長が指名する副委員長を置くことができる。

（任期）

第3条 前条第1号委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 委員に欠員が生じた場合、補充される委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、任期が満了した場合においても新たに委員が選出されるまで第1項の規定にかかわらず引き続きその職務を行うものとする。

（審議事項）

第4条 委員会は、次の事項について審議するものとする。

- （1）学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に関すること。
- （2）学事予定に関すること。
- （3）教育課程の編成、授業及び試験に関すること。
- （4）学生の就学指導に関すること。
- （5）単位及び課程の修了に関すること。
- （6）生涯学習に関すること。
- （7）臨地・臨床実習に関すること。
- （8）非常勤講師及び実験実習助手に関すること。
- （9）学習成果の検証及び活用に関すること。
- （10）教育課程・学習成果についての点検・評価及び改善・向上に関すること。
- （11）その他教務に関すること。

（議事）

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

- 3 委員会は、委員の2分の1以上の出席をもって成立することとし、議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は委員長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(専門部会)

第6条 委員会に特定の事項を審議するため、専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会に関する事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学生支援グループにおいて処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、教務に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規程により選出される最初の委員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成17年1月13日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月8日から施行し、平成20年4月1日より適用する。
- 2 この規程の施行時の委員長及び副委員長は、第2条第2項及び第3項の規程により指名されたものとみなす。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年7月21日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年3月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月8日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年12月14日から施行する。

附 則

この規程は、2020年3月16日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年9月8日から施行する。

附 則

この規程は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

藍野大学 教務委員会規程

〔 2004 年 4 月 1 日
制 定 〕

（設置）

第1条 藍野大学組織規程第11条第1項に基づき、教務に関する基本的事項を審議するため、教務委員会（以下「委員会」という。）を設置し、同条第2項の規定に基づき、委員会に必要な事項を定めるものとする。

2 委員会は、全学的な教育課程・学習成果に関して、責任を負う組織とする。

（構成）

第2条 委員会は、次に掲げる職員をもって構成するものとする。

- （1）各学科から選出された者 各2名
- （2）教職課程部会長
- （3）国際交流部会長
- （4）学生支援グループ長 1名
- （5）前各号に掲げる者のほか、委員長が必要と認めた者

2 委員会に委員長を置き、学部長が指名する者をもって充てる。

3 委員会は、必要に応じ、委員長が指名する副委員長を置くことができる。

（任期）

第3条 前条第1号委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 委員に欠員が生じた場合、補充される委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、任期が満了した場合においても新たに委員が選出されるまで第1項の規定にかかわらず引き続きその職務を行うものとする。

（審議事項）

第4条 委員会は、次の事項について審議するものとする。

- （1）学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に関すること。
- （2）学事予定に関すること。
- （3）教育課程の編成、授業及び試験に関すること。
- （4）学生の就学指導に関すること。
- （5）単位及び課程の修了に関すること。
- （6）生涯学習に関すること。
- （7）臨地・臨床実習に関すること。
- （8）非常勤講師及び実験実習助手に関すること。
- （9）学習成果の検証及び活用に関すること。
- （10）教育課程・学習成果についての点検・評価及び改善・向上に関すること。
- （11）その他教務に関すること。

（議事）

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

- 3 委員会は、委員の2分の1以上の出席をもって成立することとし、議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は委員長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(専門部会)

第6条 委員会に特定の事項を審議するため、専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会に関する事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学生支援グループにおいて処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、教務に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規程により選出される最初の委員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成17年1月13日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月8日から施行し、平成20年4月1日より適用する。
- 2 この規程の施行時の委員長及び副委員長は、第2条第2項及び第3項の規程により指名されたものとみなす。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年7月21日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年3月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月8日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年12月14日から施行する。

附 則

この規程は、2020年3月16日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年9月8日から施行する。

附 則

この規程は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

大学等名	藍野大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシー)	申請年度	令和7年度

取組概要

【プログラムの目的】

本プログラムを履修させる目的は、医療分野における高度な数理的思考力、データ解析力、及びAI活用能力を備えた人材を育成することである。近年、医療DXの推進に伴い、診療情報、ゲノムデータ、医療画像など膨大なデータを適切に分析・活用し、科学的根拠に基づく意思決定を行う能力が医療従事者に求められている。本プログラムでは、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的知識を体系的に修得させるとともに、それらを医療・福祉や地域社会の諸課題の発見・解決に活用できる実践的能力の育成を図る。これにより、医療DXや地域社会に貢献し、医療や地域社会生活と情報技術を融合させた新たな医療・健康サービスの創出を担う人材を育成することを目的とする。

【修了要件】

基礎科目「情報科学Ⅰ」（必須：2単位）「統計学Ⅰ」（必須：1単位）を修得すること。

【実施体制】

プログラムの実施および改善、自己点検・評価は教務委員会で行う。

	社会におけるデータ・AIの活用						データリテラシー			データ・AI活用における留意事項	
モデルカリキュラム/対象科目	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
	社会で起きている変化	社会で活用されているデータ	データ・AIの活用領域	データ・AI利活用のための技術	データ・AI利活用の現場	データ・AI利活用の最新動向	データを読む	データを説明する	データを扱う	データ・AIを扱う上での留意事項	データを守る上での留意事項
情報科学Ⅰ (2単位)	第2回 第12回		第3回			第3回				第3回	第3回
統計学Ⅰ (1単位)		第1回 第6回	第8回 第9回	第2回 第14回	第11回 第14回 第15回		第1～6回	第1～3回	第2回 第6回		

【身に付けられる能力】

本プログラムを履修することで、現代社会における、数理・データサイエンス・AIの果たす役割や、これからの社会でデータの利活用の領域と事例、ならびに倫理的観点からの留意点を理解し、医療・福祉や健康増進分野におけるデータの扱い方、分析力、解釈する力、説明する力を身につけることができる。